2026年　青谷地区公民館長だより　11月号

よらいや　よらいや　公民館

３歩進んで２歩下がる♫

水前寺清子の 365 歩のマーチのワンフレーズですが、私はこのフレーズが大好きです。捉え方がちょっと違うかも知れませんが、私の日常がこんな感じだからかも知れません。これがいいと思ったら、他の人がしないことでも後先考えずに挑戦するのが私のスタイル。新しい取り組みだといって3歩進んでも、考えが浅いので2歩下がることもしばしば。でも、1 歩は前進します。

敬老会で集まることをやめてお祝い品の配布に変えただけでなく、新たにシニアの集いを追加するという発想など、その典型です。シニアの集いは、私の思いを公民館の職員とまちづくり協議会の福祉支援部会員が実現してくれたものです。賛否両論あり、会合を開いてほしかった人には 2 歩後退でしょうが、元気な高齢者の方には概ね好評でした。

インスタの発信も、若者がよく見るのならやってみようという発想で、青谷高校の生徒の力を借りて、コスモス展の宣伝を 10 月からいきなり発信しました。私のスマホを操作する技能は全然ですが、高校生に聞いて覚えているテクニックを使って、ぎこちないけれど発信しています。どうせまた、2 歩くらい下がるでしょうが・・・。

とくさんの田んぼ日記

今年は豊作・・・かな？

去年は【令和の米不足】とか言って、店に米が並んでいませんでしたね。価格も例年の2倍以上で、手が出せずにいると備蓄米を放出・・・と大変でした。今年は状況が全く違い、去年の米がまだあるから価格が下がると言われていますが、私としては複雑な心境です。

というわけで、去年から始めた米づくりですが、今年はこまめに草取りをしたお陰か、豊作の予感がします。写真をご覧ください。去年はほとんど草ばかりで稲を干す稲架（はざ）はちょっとで済みましたが、今年は端から端まで二段にして干してもまだ足りず、実は横にもう少し干してあります。

そういう状態なので、今年は勝手に豊作だと予想しています。次号では、どれだけ収穫できたか報告できると思います。

お楽しみに！



去年は全部でこれだけ・・・



今年は端から端まで稲ばかり！ まだある!!

シリーズ　知っていましたか、青谷のこと？
秋は青谷が元気いっぱい!!

最近、「青谷から来ました」と言うと、「青谷は元気だなあ。いろんなことをやっとってええなあ。」と言われることが増えました。

そこで、どんな事業がどこの主催で行われているか調べてみました。



西町二四会のコスモス畑

◎事業名　【主催者】
◎あおいち　【青谷地域にぎわい創出実行委員会】
◎青谷さんぽフェス　【青谷地域づくり連絡協議会・青谷さんぽフェス実行委員会】
◎青谷音楽祭　【青谷音楽祭実行委員会】
◎あおや鳴り砂ビーチフェスタ【地域づくり連絡協議会・青谷鳴り砂ビーチフェスタ実行委員会】
◎長尾鼻と夏泊を楽しむ会　【青谷地区まちづくり協議会地区再生部会】
◎青谷ようこそまつり　【青谷ようこそまつり実行委員会・鳥取市西商工会】
◎青谷かみじちフェスタ　【鳥取県・鳥取市・青谷地域にぎわい創出実行委員会】
◎コスモス畑　【西町二四会・青谷上寺地遺跡クラブ】
◎あおや駅よこフリマルシェ【青谷駅つかい隊】

その他、あおや郷土館や青谷ようこそ館でも、頻繁にイベントが行われていますね。小さな事業も入れると、とてつもなく沢山の事業が行われています。また、それが一つの団体が行っているのではなく、いろいろな団体が青谷を盛り上げようとして独自に行っています。そこがすごいと思います。



青谷音楽祭には、たくさんの来場者があった

おわりに

青谷町の小・中学校が連携して「みらあおプロジェクト」という事業を行っています。今年はようこそ広場に集まり、小・中合同のグループになって、大人のボランティアと一緒に青谷地区内のごみを回収した量を競うスポ GOMI という競技に取り組みました。始まるまでは、ごみなんてそんなに無いだろうと予想していたのですが、写真の通り 70 キロもあってびっくり。おかげで青谷の町がきれいになりました。

こんなにすごいことができるのも、常に小・中が連携している青谷だからでしょう。嬉しいですね。



こんなにごみがあった！